始。気炉る設

す。ペレ前・域の全か努め職場と多に貢変う今後策を と安まい他業めて魅力す。しま

阿部鋼材が社名変更

「阿部フロンテクス」に

厚板溶断、鋼材の曲げ加工・溶接組み立てなどを手掛ける阿部鋼材(本社=札幌市西区、阿部大祐社長)は7月1日付で、社名を「株式会社阿部フロンテクス」に変更する。24日に札幌市内で行われた同社の経営企画発表会で明らかにした。創業以来愛されてきた阿部の名前を残し、北海道のフロンティア精神と同社が誇る技術力(テクニック、テクノロジー)で社会に貢献していくという思いを社名に込めた。

阿部鋼材は1950年創業。現在は厚板溶断の発寒工場、曲げ・溶接加工の石狩工場に加え、機械製作・組み立てを行う三和マシニング工場の3工場で事業を展開する。各切断機やプレス機、レーザー加工機、門型マシニングセンターなど豊富な設備を保有し、グループ会社の山一ピーエスコンクリート、カネトミ北勝興業とともに、顧客の多様なニーズに応えている。

昨年、創業75周年を迎えたことを機に、新社名プロジェクトを発足させた。新社名候補は社内から公募。12人のプロジェクトチームが絞り込んだ三つの最終候補の中から、阿部仁会長と阿部社長が決定した。阿部の名前を残したのは、オーナーとしての責任を果たすとともに、これからも社員、関係各社と力を合わせて進んでいくという考えからだ。

新社名を発表する阿部社長

経営企画発表会で、阿部社長は「これまで培った職人の技術と最新のデジタル技術を融合させ、難解な図面を形にするための解決策を提供する」と述べ、北海道で最も頼られる存在になることを表明。社員に対しては、「皆さんは北海道の未来をつくるクリエイターであり、エンジニア。鋼の意思を持ち、まだ見ぬフロンティアへともに歩んでいこう」と呼びかけた。新生阿部フロンテクスは社員一丸となり、他社には真似できない唯一無二のエンジニア集団を目指していく。